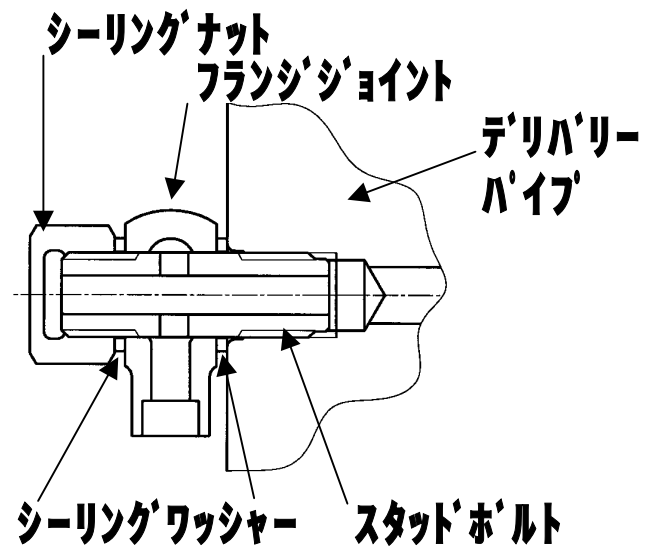


高濃度アルコール含有燃料による 燃料系腐食状況

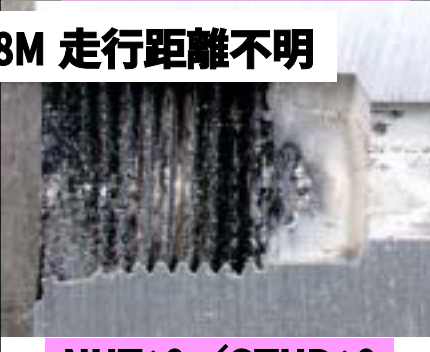
— 本田技研工業(株) —

デリバリーパイプ詳細



デリバリーパイプの腐食状況

数値は緩みトルク

	IN側	Front	OUT側	IN側	Rear	OUT(P/Reg)側
98M 約30000km					OK	
A車	NUT:0 / STUD:0	NUT:0 / STUD:0	NUT:0 / STUD:0	NUT:0 / STUD:0		
98M 約17000km					OK	
B車	NUT:0 / STUD:0	NUT:0 / STUD:0	NUT:0 / STUD:0	NUT:0 / STUD:0		
98M 走行距離不明					腐食発生	
C車	NUT:0 / STUD:0	NUT:2.7 / STUD:2.7	NUT:0 / STUD:0	NUT:0 / STUD:0		

腐食は全てメネジ側のみで、オネジ先端部に相当する部位、及びシーリングワッシャー座面近傍の腐食が著しい。

正常品デリバリーパイプ

無鉛ガソリンのみ走行：走行距離 34000km

Front IN側



Front OUT側

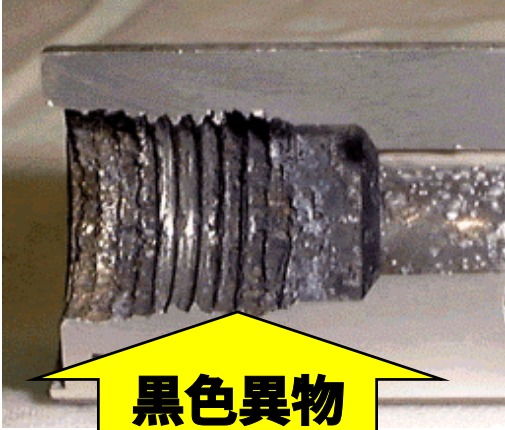
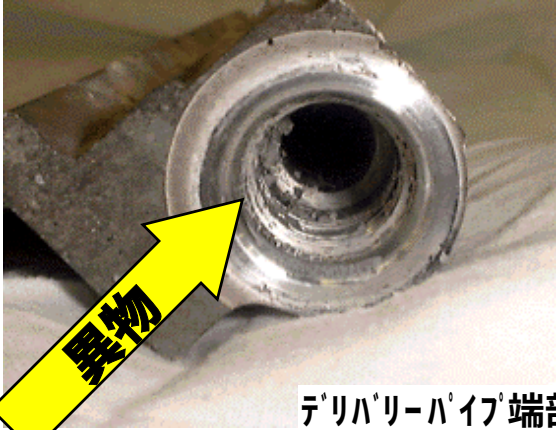
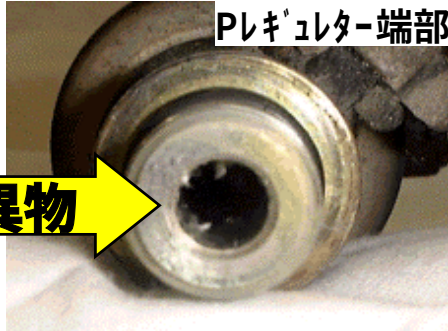


Rear IN側



腐食発生車の様な腐食は認められない。

腐食生成物の分析結果

	A車	B車	A車	B車	B車
	シーリングワッシャー座面周辺		デリバリーパイプメネジ表面		・Rr側デリバリーパイプ担部及びP.レギュ ター端部
サ ン プ ル 採 取					
					

異物からは、主成分としてアルミ、酸素、炭素が検出された。
これは、アルミとアルコールの反応生成物であるアルミ酸化物又は水酸化物であると考えられる。

異物外観